

# 2023年3月教会便り 美唄～砂川

主任司祭 ナルチゾ神父

先月 22 日から、四旬節がはじまっています。

四旬節の 40 日間（日曜日は数えない）は、一年の典礼の頂点である復活祭を目指しての準備期間です。四旬節に教皇は毎年四旬節メッセージを発表し、その中で四旬節の精神を理解し、回心と愛のわざに生きるように招きます。また、17 日には日本の信徒発見の聖母を祝います。

この日は、日本のカトリック教会にとって特別な日、また世界にとっても驚くべき歴史的な日です。この日に教皇は全教会に日本の教会のことを考え、祈るように招いた経緯があります。この出来事を思い起こしながら、自分自身が大切にしている霊的な価値、人生の目的について、今日考え、祈るように招かれているのではないのでしょうか。

四旬節は「40 日の期間」という意味です。40 という数はイエスが荒野で 40 日間断食をしたことに由来していて、それにならって 40 日の断食という習慣が生まれました。けれども実際には、復活祭の 46 日前の水曜日（灰の水曜日）から四旬節が始まります。それは、主日（日曜日）には断食をしない習慣だったからです。灰の水曜日に教会では、回心のしるしとして頭か額に灰をかける「灰の式」という典礼があります。

キリスト教が根付いている国では、灰の水曜日の直前に、「カーニバル（謝肉祭）」というお祭りがあります。古代や中世期の信者たちは四旬節に肉食を断っていたので、その前にごちそうを食べて大いに騒いでいました。その習慣がこんにちまで続いているのですが、教会とは直接関係ありません。

断食については、現在では完全に食事を断つというよりも、十分な食事をひかえることと考えられていて、以下のように「大齋・小齋」があります。大齋と小齋を守る日は灰の水曜日と聖金曜日（復活祭直前の金曜日）、小齋を守る日は祭日を除く毎金曜日です。

大齋：1 日に 1 回だけの十分な食事とそのほかに朝ともう 1 回わずかな食事をとることができ、満 18 歳以上満 60 歳未満の信者が守ります。

小齋：肉類を食べないことですが、各自の判断で償いの他の形式、とくに愛徳のわざ、信心業、節制のわざの実行をもって代えることができ、満 14 歳以上の信者が守ります。

（大齋も小齋も、病気や妊娠などの理由がある人は免除されます）



## 3月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	美唄
5	日	四旬節第2主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:安藤 第2:西川薫 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:野呂	11:00
12	日	四旬節第3主日 司祭と召出を求めるために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:多田 第1:高塚 第2:本田 答唱詩編:古野/間野 オルガン:野呂	11:00
19	日	四旬節第4主日 病者と洗礼志願者のために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:岡本 第2:西川薫 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:斎藤	11:00
26	日	四旬節第5主日 教会から離れた信者のために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	8:40 十字架の道行 9:00 ミサ 先読み:多田 第1:野呂 第2:安藤 答唱詩編:多田/古野 オルガン:斎藤	11:00

◆平日のミサ ○砂川教会:月曜日～金曜日 17:00、土曜日 10:00 ○美唄教会:金曜日10:30

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

○砂川教会

9日 聖フランシスカ(ローマ)修道女 西村京子

○美唄教会

10日 マリアフランシスカ

村田千津子

19日 聖ヨセフ

吉村道雄 小山政男

◆砂川教会 お知らせ

- ・ロザリオ会は冬季(11~3月)夜間の交通安全を考慮してお休みします
- ・毎週水曜日 10:00~ 聖書に親しむ会を実施しています

砂川 花当番

なし

◆その他

- ・四旬節の期間中 四旬節愛の献金
- ・10日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日

◆幼稚園関連

- ・卒園式・・・3月16日(木) ※卒園児37名
- ・終業式・・・3月17日(金)
- ・父母の会は今年度をもって解散し、以降は職員が中心となって関連事業を実施します。

平和を求める祈り

神よ、  
わたしをあなたの平和の道具としてお使いください。  
憎しみのあるところに愛を、  
いさかいのあるところにゆるしを、  
分裂のあるところに一致を、  
疑惑のあるところに信仰を、  
誤っているところに真理を、  
絶望のあるところに希望を、  
闇に光を、  
悲しみのあるところに喜びをもたらすものとしてください。  
慰められるよりは慰めることを、  
理解されるよりは理解することを、  
愛されるよりは愛することを、わたしが求めますように。

わたしたちは、与えるから受け、ゆるすからゆるされ、  
自分を捨てて死に、  
永遠のいのちをいただくのですから。

